

兵庫県立津名高等学校

同窓会阪神支部報

新校舎とともに

同窓会館を建てよう

支部長 本田 卓 禾
(高六回生)

多彩にきらめく明石海峡大橋は、眼下の碧海に金波銀波をなびかせて、ときめいておられます。皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年の総会は、母校創立八十周年に相応しく、大勢の恩師の先生、会員の皆様にご参加頂き、盛大に挙行されました。昨年度総会にも堀川先生率いる母校のギョー・マンドリン部員に演奏して頂きましたが、ジャン・クリストフの如く、回毎に力強さを感じ、頼もしいものでした。

異口同音に、母校の教育施設の老朽、幹線道路をはさんで約五百メートルの距離、在校時間中の交通事故の危険性等を悲嘆しておられ、われわれ卒業生に対しては新時代の母校づくりへの協力要請をしてもらいます。また明石海峡大橋は時代の風雲龍児でありながら、淡路の経済基盤は本浮上していません。

せん。元母校校長岡勢都夫先生は、数年前の退職時に、同窓会館の必要性を認識し、退職金の一部を割いて、多額の金員を同窓会館建設基金として寄付して下さいました。岡勢都夫元校長先生のご厚意が未だ目の前に見えない間に、同窓生が幽明境を異にされたのは残念であります。

同窓会館の早期建立準備の必要性は、母校の校舎の早期移転への協力に含めるのみならず、高齢化、少子化が深刻化しつつあるわれわれの故郷の活性化にも連なり、故郷への恩返しにもなるのです。なお最近、県議員北浦義久先生から、県当局での母校の校舎移転改築問題についての最新情報を頂きました。それにより、基本計画策定費として、三百万円が計上されており、今後のスケジュールとしては、平成十三年度中に基本計画、建築計画、十四年度に造成工事、十五・十六年度に建築工事、十七年度に新校舎への移転を目指すとのことでした。われわれ同窓生は、満腔の決意で、校舎移転の早期実現への協力と同窓会館の建立に取り組むべきであります。

今年度の支部報第六号は、二世紀前の産業革命に匹敵するIT革命で更に強まる国際化を視点に、編集して頂きました。思えば、神戸は、明治維新前後の慶応三年に開港し、外人居留地を中心に都市化した文字どおり国際港都であります。国際社会で飛躍しておられる同窓生諸兄から進取の英気を受けて、更に国際化の精神を陶冶したいと思っております。

当支部会員の皆様には、当支部の活動等に積極的に参加して頂いて、アイデンティティーの活気を横溢させて頂き、新しい母校づくり、故郷づくりにお力添え頂きたいと思っております。因に私は、昨秋、出身大学同窓会兵庫県下の会長にも推挙されており、八面六臂に活動しております。

昨年十月に創立八十周年の式典は、大勢の来賓や卒業生をお迎えして盛大に開催することができました。式典に当って、同窓会からのプレゼントとして贈られたアルカディア室内管弦楽団によるオーケストラ演奏会も大変好評で、式典終了後多くの方々から感謝の言葉をいただきました。ところで、ここに朗報が一つあります。八十周年式典のあいだ、教育長から、津名高校の新校舎建設についてかなり具体的な話がありました。このたび、津名郡選出の北浦県議員からの連絡により、新校舎の建設が決定したとのこと。即ち、平成十三年度に基本設計費として三百万円が計上されたということです。

そして、十四年度は造成工事、十五年・十六年で建設工事を行い、十七年の春には新校舎に移れることになりました。万歳!! いろいろな形で協力をお願いしました大勢の皆さんに心から御礼を申し上げます。この新校舎建設が、同窓会活動の活性化にもつながって行くことを願わずにはおられません。阪神支部の皆さんのご健勝とご活躍を祈っております。

喜ばしい限りです。前任の大任校長をはじめ先輩の校長先生方、淡路地区から選出されている県議会議員の先生方、その他多くの関係者の方々のご支援のたまものと、うれしくて、またありがたそうに思っています。今後折に触れ進捗状況につきましてはお知らせしたいと思っております。引き続きご支援をお願い申し上げます。

折しも、県では社会の変化に対応すべく、高校単位制を導入した高校や普通科から総合学科に変えた高校はすでに何校もあり、また、学級減にも対応させて、職業科の高校と普通科の高校を統合して総合学科にするという高校が数校あります。また一方で、高校入試に複数志願制度の導入が一部地域で実施される予定です。このように兵庫県下では高校教育改革が津名高校の移転改築を考えると、これらの高

校舎の移転新築にメド

同窓会長 小久保 正 雄
(高四回生)

校長 高坂 健

着任ご挨拶をかねて

こととお喜び申し上げます。日頃は母校津名高校の発展のためにご支援ご協力をいただきありがとうございます。こととお喜び申し上げます。日頃は母校津名高校の発展のためにご支援ご協力をいただきありがとうございます。

こととお喜び申し上げます。日頃は母校津名高校の発展のためにご支援ご協力をいただきありがとうございます。こととお喜び申し上げます。日頃は母校津名高校の発展のためにご支援ご協力をいただきありがとうございます。

こととお喜び申し上げます。日頃は母校津名高校の発展のためにご支援ご協力をいただきありがとうございます。こととお喜び申し上げます。日頃は母校津名高校の発展のためにご支援ご協力をいただきありがとうございます。

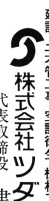
こととお喜び申し上げます。日頃は母校津名高校の発展のためにご支援ご協力をいただきありがとうございます。こととお喜び申し上げます。日頃は母校津名高校の発展のためにご支援ご協力をいただきありがとうございます。

こととお喜び申し上げます。日頃は母校津名高校の発展のためにご支援ご協力をいただきありがとうございます。こととお喜び申し上げます。日頃は母校津名高校の発展のためにご支援ご協力をいただきありがとうございます。

母校訪問ご案内

同窓の皆様、恒例の文化祭に大勢で見学しましょう、若さとエネルギーの雰囲気に触れましょう、帰途は男のロマンにひたり、花と緑の美を五感で満喫しよう、

1. 集合時間 平成13年5月19日(土)午前8時45分(時間厳守のこと)
2. 集合場所 湊川(楠公)神社前(JR神戸駅北約200m)
3. 参加費 5000円(昼食付)
4. 参加申込 申込ハガキで5月15日まで
5. 帰途 NHK75周年記念「菜の花の沖」特別展 高田屋嘉兵衛顕彰館・歴史文化資料館(菜の花ホール)と 奇跡の星の植物館(淡路夢舞台、花博跡) 観光見学(実費別途負担)



ミツボシエンジニアリング株式会社
代表取締役 三津 啓祐
(高三回生)

高山クリニックス
理事長 高山 秀則

吉田石油株式会社
代表取締役 吉田 昌美

宅地分譲 株式会社 仁泉博明
代表取締役 仁泉 博明

兵庫県津名郡津名町志筑三三八一
TEL 〇七九 九一六二二五
FAX 〇七九 九一六二二五

八十周年記念行事
に伴う御礼の言葉

兵庫県立津名高等学校PTA会長
創立八十周年実行委員会会長
竹沢好生
(高二十二回生)

蕉、津名高校阪神文藝同窓会先輩諸氏におかましましては、益々二健勝のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本校教育活動・P・T・A活動、創立80周年事業につきまして、格別のご理解・協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年本校は大正九年、志賀町立芸芸女学校として創立され昭和十三年

と改称され、大正・昭和とに兵庫県立津名高等学校と改称され、創立十周年記念の年であり、深い節目の年である。此日の、記念式典開催するにいたる各界各教の皆様の協力もまた盛大な開催できたこと、その中でも本田先生をはじめとする、阪神文芸同窓会と先輩諸氏の物心共の絶大な協力があれば、こ

総会に出席して

坂東洋治
(高六回生)

「一二三」世紀に向かう
て、母校の発展（同窓生
の活躍を）期待し、平成
十二年八月二十七日、
本・支本部定例会（懇親
会）が神戸市三宮、神戸国
際会館で開催された。震
災後、再建した皇仁の当
館は落成式には皇仁の字
下がご親臨された格式の
高い施設、当社総務部長
野田正生（高十二回生）
氏と支部長との縁により
実現できた。

懇親勢三十六名（来賓八・
本部関係十六）支部一
二の出席者、本支部合
同・神戸市大の繁栄街・
島内からの交通に便した
で、近年では最高の参
加数だった。来賓には同
窓会長久保正雄、校長
大住昌義・恩師瀬原
男（同植松園）、同
藤田公樹（高十回生）
降岡岩夫、PTA会長長竹
沢好生（高十二回生）
以上八名がご臨席され
た。定例会司会井上君（高
十二回生）が進行、副支
部長保室太一（高六回生）
開会・本田田学園開催の
挨拶、来賓紹介の後、小
久保正雄会長、大住校長
の祝詞が述べられ、次いで、
薄本昌信（高七回生）が、
議長に選任られ議事を進
行した。議事内容は次の
通り。

一、会務報告、役員選

の記念事業が成功裡に終える事がありませんでした。ここに実行委員会を代表いたしましたして、誌上より誠に恐縮ではありますが、重ねて衷心より厚く感謝をいたす所であります。

校政成十五年四月）改訂
人ひとりの子とまで違いに
で、ゆとりの中で、
「生きる力」を育む事、
又は、各学校の創意工夫
をいかした特色ある学校
づくりが求められていま
す。本校についてもこれ
らの新しい時代にそくし
た、教育の創造で更なる
新しい津名高校の飛躍を
目指し、本年も新しいス
タッフで頑張っています
ので、旧年中にもまして

田支部長）、会計報告
（会計尾崎晴子・高六
（回生））、会計監査報告
（花野悦・高九回生）
の三名から提議、説明が
協議の結果、異議なく可
決・承認した。(1)、会務
報告 平成 10・8 月則改
正（役員総会決議、年会会
費二千円・分会設置
費二千円）(2)キダーマン・ドント部初
演奏（於懇親会）③支部
報第四・五号発行④母校
集一・三孝・瀧昭男先生
第二（主幹 瀧昭男氏議の
集一）以上当支部関係理事・
常任理事会、二回（支部
推薦常任理事、毎回出席
）⑤以上本部関係⑥文
化祭・体育祭各一回、卒
業式二回（以上母校関係）
⑦事業計画（平成十・十三
年度）⑧母校八十周年
記念事業（母校 P R 活
動・払込票分布等）⑨支

野球部員の成長と監督のやりがい

吉中一美
(高三十二回生)

本校野球部に入部する生徒のほとんどが、中学時代のレギュラーとして活躍してきたものだが、そうでなかったものも含めて、入部と同時に横一線に並ばされる。それは、以後三年間、高校球児として自己の掲げる目標を達成するの、すなわち全国の土を踏むのである。

グラウンドには、時々、保護者やＯＢ、地域の人が足を運んでくれる。その人達への挨拶は、いつも応援があり、いい、うしろと、私は出張つていますという意志を込めて、腹の底から込め、そして、部員のグラウンド内移動は、どんな時も全力疾走する。走らねばいいは、次にやるべき事が理解できていなければならぬからだ。又、個々人を、野球に対する一つの方向を、チームの一員として表現していかなくては調子落して、その方法を手段無制限で、あるいは、悪しきやり方、

在校生を代表して

津名高校同窓会
(阪神支部)の皆様へ

初夏の候、阪神支部の皆様には、益々ご健勝でこの活躍のごことお慶び申し上げます。先日は、遠路はるばるの学校に足を運んでいただいた上に、多額のご寄付を頂きまして誠にありがとうございます。今年には創立八十周年ということで、津名高校にとっては長い歴史の中で節目の年でもありますが、この八十年間で、津名高校は大きく変りました。

ここ最近特に大きく変化したことと言はば、ノーチャイム制、二期制服の導入、女子制服改定、海外修学旅行行定、今回、皆様も再び母校を訪問して、昔と大きく違っているの、懐かしい高校時代のことを思い出されたのではないのでしょうか。時代は変化しても、津名高校の良き伝統は今もなお受け継がれていると思います。

今年は体育部の方も活

山本 せつこ
(生徒会会長)

山本せつこ

むろ、自己の思いを他者に伝える事が、重要である。その中で、チームの価値観が一致した時に、新しい一つのものが生み出されるのである。

私は、昨年夏の県大会ベスト4は、プラスチックが、生み出された結末だと思っている。決勝進出を前にして、しかも点差が被って、悔いはないと言えればなるが、選手達の自らの力で勝ちがてって行ったことにまちがいない。試合を重ねるうちに強くなり、どんな状況でも、自信を持ってプレーするようになっていた。優勝まで残り二試合となった。新しい活字には、九年ぶりの準決勝、そして、二十五年ぶりの決勝進出かと。スタンドには、野球を愛するものだけでなく、著名高校を愛する、まさしくサポーターが数多くいた。主体性を持つて自分が動く時、その持つたむきさに共感し、周囲を動かされる。社会に出れば、そんな事も理解される。いろいろな事、いろいろな事、自分達の意思、選手達は体験してくれた。部員には、ベスト4という結果より、三年間、厳しく練習に耐え、仲間と共に、一つの目標にかつてエネルギーを燃やして燃やした事に誇りを持ってもらいたい。

そして、今の練習の苦しみ、やがて自分たちが二十年後の自分を生き抜く底力となることを忘れなうでほしい。それが肝心の時、指導者があるのかもしれない。本当の喜びがあるのかも知れない。

当支部年会費納入のお願い
 当支部の1ヶ年の会費が金2,000円になっておりますので、同封の郵便払込書で納入して頂きたいお願い致します。
 なお郵便振替払込書のない場合には、下記のいずれかへお願い致します。
 ・郵便振替口座
 口座番号 00910-8-94229
 ・三和銀行千里中央支店
 普通預金口座
 口座番号 3995479
 名義は津名高等学校同意会阪神支部

高島眼科クリニック

医学博士 高島玲子
(高十六回生)
津名郡津名町志筑二八三一四
〇七九九一六二一〇二〇

タニ矯正歯科クリニック
歯学博士 谷 世志昭
(高二十三回生)

大阪市浪速区難波中二一八一九一
中川ビル二階
TEL〇六〇六六四三一 一八七

株式会社教育研究所
五ツ木模擬テスト・セミナー・教研
代表取締役社長 尾崎 進
TEL(〇七五)五六二一九二二(代)

お洒落にセシよくラッピング：..
暮らしやお仕事に活かしてみませんか
・企業セミナー・グループ講習・研修
・イベント・ディスプレイラッピングなど
ラッピング工房OZ
オズ

尾崎 聡子
高槻市土土室二丁目二一七〇四
TEL 〇七二六(九五)七七七六
FAX 〇七二六(九五)七七七六

事務所 〒543-0043 大阪市中央区高麗橋二丁目一
(高二十七回生)
電話 〇六(六二三)二〇〇八番
FAX 〇六(六二三)二〇一〇番

税理士
花野正悦
(高十九回生)

電話(〇七八)五七八一五三三五
FAX(〇七八)五七七一一三三八

筆谷正
(高三回生)
(司法書士・行政書士・社会保険労務士)
〒663-8112 西宮市甲子園口北町二二二

大切な人のもしものときに
（株）片山葬祭
 兵庫県津名郡北淡町黒谷一四八二番

電話(〇七九九)八四一—二二三
FAX(〇七九九)八四一—一八三

神戸市兵庫区羽坂通三丁目一三
FTEL (〇七八) 五一二一三六〇

私に起こった出来事



細川 稔子
(旧姓伊藤)
(高十四回生)

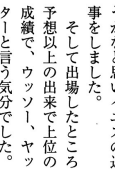
私は現在五十六才、ひょんなことからニューヨークでダンスの競技会に出場することになり夢のような体験をしたことを書きます。

昨年三月頃のこと。家庭内の私の役割も一段落ついた。と思う穏やかな日々を送ってました。が考えた時、このまま平凡な主婦として生活するのはもういい、一度切りの人生何か突飛なこととして少し色付けしようとして、念を起し、何をするかは満足し、やりがいを感じた。と、色々考えた結果、英語が喋れないのに外国で暮らしてみたい、と、それだ！と思い、それならば世界中のエネルギーを集めたニューヨークがピッタシと思い、それに挑戦することに決定しました。

家族全員の賛成もあり「ようし、ヤルゾー」と、益々その気になり行動開始となりました。三ヶ月の予定で五月三十一日ニューヨーク行きの航空チケットが手元に届いた時は、ワケ当り行くようになっていて、どうしよう、ちょっとビビル気持ちも何か理由づけしてやってみよう、と、それだ！と思い、それならば世界中のエネルギーを集めたニューヨークがピッタシと思い、それに挑戦することに決定しました。

家族全員の賛成もあり「ようし、ヤルゾー」と、益々その気になり行動開始となりました。三ヶ月の予定で五月三十一日ニューヨーク行きの航空チケットが手元に届いた時は、ワケ当り行くようになっていて、どうしよう、ちょっとビビル気持ちも何か理由づけしてやってみよう、と、それだ！と思い、それならば世界中のエネルギーを集めたニューヨークがピッタシと思い、それに挑戦することに決定しました。

心に残る恩師



近藤 甲一
(高十四回卒)

幼少の頃から小学校、中学校、高等学校と学んだ学生生活を振り返ると、同級生、クラブの先輩、後輩、そして恩師との思い出がある。多数の先生との出会いがあるが、強く心に残っている先生は数少ない。

その内、一人の中に、津名高校に入学した時、二年三組の担任だった平本清先生がいる。先輩諸氏は記憶に残っているが、先生は代数学、方程式や三角関数を教わった。

当時の先生は教科は色々、兼任されていた。その時先生から、(大学進学に向けて)頑張らなさい、と親にアドバイスを貰ったことが、励みになり、将来の展望が少し開けたように思った。

当時の先生は教科は色々、兼任されていた。その時先生から、(大学進学に向けて)頑張らなさい、と親にアドバイスを貰ったことが、励みになり、将来の展望が少し開けたように思った。

すばらしき指導者との出会い



和中 敬子
(旧姓：岡田)
(高二十四回生)

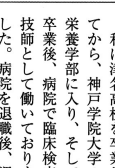
現在、私が働いているのは「血拴止血研究神戸プロジェクト」ということで、今回の原稿を依頼されたことがありますが、確かに、このような職場は、日本中、いや世界中を捜してもほとんどないかもしれません。

「血拴止血研究神戸プロジェクト」は、血拴止血研究の情報センターにしたいという中で、神戸大学名誉教授の岡本彰裕先生が退官後に神戸済生会病院内に作られた研究室です。(現在は病院内に移転したため、岡本先生の自宅横に事務所が置かれております)

岡本先生はイブシロンとトランサミンという二つの止血剤の発見者であり、最近では脳血管障害の血拴症の治療薬となつていて、アルガトロン、ノバスタン)の発見者でも

岡本先生はイブシロンとトランサミンという二つの止血剤の発見者であり、最近では脳血管障害の血拴症の治療薬となつていて、アルガトロン、ノバスタン)の発見者でも

立花和也



立花 和也
(高五回生)

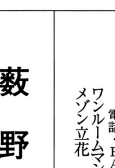
先生の講義を受けたお医者さんからお聞きしたところでは、「授業は何を教えてもらったかはあまり覚えていないけど、とにかくめんどくさい、と、言っている」と、言っている。

私も岡本先生のところで働き始めてから、試験のための勉強ではなく、自分が知りたかったことを勉強し始めたように思います。

「血拴止血研究神戸プロジェクト」での私の仕事は、新薬を創るために会社や大学で合成した化合物の作用をチェックするということです。研究を始めても、八年目頃からは「和さん、学位を取りなさい」と、岡本先生には言われていたのですが、最初の頃は元

「血拴止血研究神戸プロジェクト」での私の仕事は、新薬を創るために会社や大学で合成した化合物の作用をチェックするということです。研究を始めても、八年目頃からは「和さん、学位を取りなさい」と、岡本先生には言われていたのですが、最初の頃は元

門戸文子



門戸 文子
(高六回生)

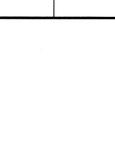
西宮市上ヶ原一丁目一四二番地
〇七九八二一五二一四八二

西宮市上ヶ原一丁目一四二番地
〇七九八二一五二一四八二

西宮市上ヶ原一丁目一四二番地
〇七九八二一五二一四八二

西宮市上ヶ原一丁目一四二番地
〇七九八二一五二一四八二

成栄運輸株式会社



成栄運輸株式会社
(高六回生)

大阪府大阪市東淀川区加島三丁目三番八号
〇六六三三九〇一七五五番

大阪府大阪市東淀川区加島三丁目三番八号
〇六六三三九〇一七五五番

大阪府大阪市東淀川区加島三丁目三番八号
〇六六三三九〇一七五五番

大阪府大阪市東淀川区加島三丁目三番八号
〇六六三三九〇一七五五番

海外との接点

海外ビジネス

体験に学ぶ



浜野圭市
(高六回生)

サリを民間企業で生産の輸出市場開拓など海外畑の仕事を擔つた。昭和三十三年に初めて海外出張して以来、訪れた外国は七十カ国近くになる。そんな私の人品を通して大切にしている言葉に、貿易通信入門と大学入学で習った英語の「YOU ATTITUDE（相手本位）」という言葉がある。人と接するときの行動を決定する思想の基準を相手に置く意味ではない。当時、海外所業文では文章の主語は「WE（われわれ）」ではなくて「YOU（あなた）」で書くべきが大切と教つた。この姿勢が實際に海外の取引先や英語で商品の売り込みに英語で通信文を書いてみると思惑なく相手の利益や立場を尊重せざるを得なくなる経験をした。コミュニケーション

他者と共存していくために必要なマナーも「他者に迷惑を掛けない、不快感を与えない」という標語が示すように行動の善し惡しの基準を相手に置いてゐる。今では禁煙喫煙場所が明確に示されてはいるのだが、かつては人前ではたばこを吸うときは「たばこを吸つてもよろしいか」と相手に

のを考慮さる」という姿勢の大切さだ。この姿勢は世界の人々との接衝や相互依存が深まる国際化社会にあつて、心のグローバル・スタンダード（世界標準）ではないだろうか。

わが教え子の理想像

坂東省次
(高十七回生)

外国語教育の現場で働いてもう十年をこす。外国語教育の現場では異文化交流の経験の場でもある。私のクラスでは日本語と英語・スペイン語が使用され、日本語と西欧文化に、スペイン文化という、東洋と西洋が交差した一種独特の文化が加わるわけである。日本に南蛮時、西欧文化の受容だけが交

いが、明治政府がスペイン文化を学ぶ余裕があれば、日本はもっと違った国運を辿ったのではないだろうか。「ひょっとすると、スペイン人だけは当時でも文明上あるいは人種の偏見をもたずに接してくれるヨーロッパにおける希少な国だったのではないか。」と言うのは司馬遼太郎である。

世界に冠たる経済大国

真の国際人とは、異文化を尊重できる人であり、同時に古きよき日本の伝統文化を誇りに思える人でもある。世界の人々と対等に交流できる国際派の日本人を、クラスから一人でも多く世に送り出すこと、これが私の理想である。

二十一世紀への曙光



口一チエ 多恵子
(旧姓宮本)
(高二十三回生)

輪夏第七大会に、政府公認二
 輪第七回シニアとして参加でき
 たことは、幸運として顧つて
 も無い、私にどうして願つて
 二十九年前に、津名高
 卒業後、短大で英文科を学
 卒後、現在は家族五人シ
 ニアで暮らしています。幼
 かったころ、供保が寝落つて
 泣きながら、テブで通訳の
 練習を積み重ね、一九九
 一年にオーストラリアの
 日英通訳国家資格を取得
 しました。

ア大陸に古くから住んでい
 るアボリジニと呼ばれる
 先住民との和解を夢見
 する役を熱演しました。手
 島の南北統一行進の光景
 は、難敵家族が五十年前
 りに再会する姿を思ひ出
 させてくれました。五輪
 はスポーツのみならず、
 平和の祭典であることを
 再認識させられました。
 テレビ放映される聲
 な舞台の水面下で、私は
 通訳の仕事をしていま

す。一過性脳虚血発作があつたかもしれないが、今は正常に戻つていてうなでの、帰つていいですよ。」といわれ、家族の方々はほつとされた様子でしたが、慣れない土地で、不安そうでした。これから救急車でそのホテルの近くまで行くやうに送つていく。タクシールよりずっとと速いかな」と親切な言葉に、家族の方々は少し戸惑つたよさ

言われ、協議情報が即
深く、グリーンの五輪
にパソコンで入手でき
インターネットの五輪
も呼ばれました。九十
の人を含む五万人の市
ポランテアが活躍し
した。あるがままの目
が受け入れられ、貢献
きる社会には、融合が
り、その環境は私達、
ひとりづつ責任をもつて創
ていくものを。二十
世紀最後の五輪は、二十
世紀の私達の在り方を

我が事業

笠山恭昭
(高十三回生)

このことです。何か書けたらいいのですが、何かに書けないのが、やはり書くこととなぜかこのアメリカにこんなにも長く住んで仕事をしているのかの言い訳のほうが私はもっと思いに思われ、それについて、思うままに書いてみたいと思います。

一九七六年からもう二十五日になります。早くも人生の半分以上がここに住むようになっていたの地ですけれども、重要な理由で始まったわけがなく、むしろ私の性格となくにも成り行ってきたといったほうがピンと来て、

氣候がおそろい、世界中で一歩過し易い、多分、ということも大いに影響あり、その氣候の中で好きなゴルフも出来ること、すてきなもの、この理由でも日本で生れてきたものに來た子供が育つ環境を考えたとき、このアメリカの方が優れているので幸せてはいないのかどうかと考えたんです。しかし私たちが両親がこちらに住みたのは子供のための教育であきらましく、その点中端々違いますが、本々を作った後悔もあります。しかしど

生きる期にきこまう。一度さきへ期にきこまう。また成行き任せ。出た。とこの人の人生が読まう。五年あつて何年なつて何年人の私に分かつていさせなう。願わくはこのまうの地に続けたこのまうのが音です。冒頭に十五の言いき言いましたが、あまり積極的なものなうただ単に聞聞聞に流れてきたこのまうじ、でもこれがアノカノにても別とのこに住みめていたらそにずんたんだ私の場合もずんたんだ私の場合もな理由ではないのがむ

ものもなく、ただ偶然にたどり着いたかのように思えます。はじめた場所（に）居座り、ガム・ヤラにやっつき、これまでもやっていたこと（を）や、今は日本を中心とした海外への輸出入が中（に）なってきたと言う感（を）です。これから言う（ように）ばらばらいままでも通り肩（を）張らずにいつも（に）とどいてます。また仕事以外にも（に）新聞をとってよくまで行（き）ていないところ（に）出来（て）ただけ無（き）うにしたいと思（い）います。そうする（と）で日本ももう少し外（へ）か（を）眺（み）めたい（と）思（い）って（ま）す。

故郷の味 灰ねかめ発売元
タイサダ

〒656-0501 兵庫県三原郡南淡町福良甲一三
電話 〇七九九一五二一〇〇〇七

E-mail: taisada@samnet.ne.jp
<http://taisada.hoops.ne.jp>

松下勝

〒655-0013 垂水区舞子台一丁目十一番二十八
電話 〇七八一七八一三四三五

五色郵便局
元局長 王木八郎

〒656-2131 津名郡津名町志筑三一六
電話(〇七九九)六二一一二二

保宗幸夫

電話 〇七八(七五二)五

尾崎田鶴子(高六回生)

○六一六三八九一四〇

古土井 和信子
(高六回生)

1

（高六回生）

女性学部の

岩見惠美子
(高六回)

[illegible]

〒558-0056 大阪市住吉区万代東二―二―

訪ねなかつたある街



青木庸效
(高三回生)

戦争が終ったとき、淡路島には二人の外国人が在任していたいわれで、一人は伊豆山アールブレイト氏で、広田村で牛乳を集めてキャラメルを作る人だということであった。この工場は生がでワシ印の缶詰を生産していたが、これらネットスルに吸収されるとアールブレイト氏はどこかにジョブで通るの人数回見かけた。いまだ、ときどき志筑かバスの乗る老人で、佐野学校高等下車していた。志筑、高等女学校へときどき英語を教え

に來ているサムエルさん」というノルウェー人だとのことであつた。洲本中学校から新制の三所高校へ移り、自転車通學を始めてしばらく経たぬ頃、私は勇氣を出しこのノルウェー人を見かねて二人のサムエルの奥さんに二人暮らしして、サムエルセン氏は当り丁の良縁御に座つて、突然來訪者に驚きながらも、快よく受け入れた。それからサムエルセン氏の逝去まで、時たまの訪問が続き、奥さんは北条キク子といふ、佐野の女で、甥が現地の高校の教員であるといふ話であつ

スペインへの里帰りの記

小久保 澄夫
(高十三回生)

昨年四月二十五日より三週間、妻と久しぶりにスペインとパリへ旅行した。一九七二年より約六年間マドリッドに住み、その半分は車での出張に

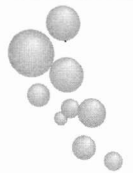
五月一日はマドリッドで友人の娘さんの結婚式で、妻はホテルの部屋で持参の着物を着るのに大騒動、夕方六時過ぎに迎える客が来て、近郊の村の教会へ、出席者が約三百人の事で、おまわりさんが三人も出動、交通整理。七

た。少くとも四半世紀以上も前のことである。

あるとき、サムエルセン氏は一枚の写真を大切に取出し、これが娘のソプラノ歌手で、ブッチーニの「蝶々夫人」に出演中のものであると言った。

いま自分の生まれ故郷のドロバツクの近くに居るが、自分が水夫をやめ

会が日本に派くる以来、機
昨夏のことである。私
はアムステルダムからエ
ルシオのハムレットの
城を訪れ、また更半日
を費やしてアデルセン
の狭い船を見て、夕方
狭きキーンを見て、ス
クジナビアでルウェー
のオスロに向かふ。
このあたりの船の食は
スモギーガスボートとい
う海鮮パイキング料理が普
通で、これを厭ふ。
ここでオスロに帰る
という若い夫婦話して
た。ふとロバート
クといふ街はど辺かと
聞くと、こともなげにオ



雜感·中國紀行

中田晴繁
(高十七回生)

北朝鮮と云えるかも知れない。韓国、今では中韓の距離感となつてゐると思ひます。

政治面での隔たりが、私には仕事の関係で、韓国・シンガポール、中国、ロシア等々、専ら東南アジアに片寄つてゐる感覚です。ですから、何度が復れておりますが、その中で最近の印象を寄稿させて頂きます。

国から北京から一時間南西方向に飛んだ鄭（テイシユウ）に位置する訪問目的地

年六月に行きました。季節は申し分ない時期で、中国でのどか過ぎる田舎の光景を満喫しながら、北京から同行している、中国共産党員も乗せた二台のゴンゴ車で、一路封鎖に向かう道道を突走り抜けた。途中での「ニンニグ」を満載した荷車が、多く行きかう裏に入り、すぐ行きかうゴンゴ車の燃料補給と、その休養の合間に、荷上に満載された「ニンニグ」の値段を知らされて、元来中国では驚いた。元来中国では北京・上海都市部を離れた所での「農作物を安くは聞き知っていたが、

この市はかつて北宋時代の首府であり、少林寺拳法発祥の地でもある、黄河が天津川となり、水面より低いので、過去二〇数回水没を経験している市との事。我々日本人からこの訪問者として、盛大な歓迎セレモニーと現地テレビ局エディタール等があり驚きの連続を経験した。中国でもう一つ、私の知識不足と云うか驚いた事では、北京原人の話を添えさせて頂きます。これは丁度、清名高八〇周年式典と重なった時期に、北京郊外に北京原人発掘記念館に行く機会が

違いで驚くのは、イスラム圏文化ではなからうと思います。紙面の都合で割愛させて頂きましたが……イスラム圏には美男美女がどうして多いのかも不思議に思っております。

最後に今、海外出張寄稿に際し、私自身海外駐在経験は有りませんが、仕事を通じての国の文化、或いは人の気質迄も交渉事などで直接触れる機会が多々、その度に異質だな、とか多種多様な場面に逢う事に飽き足らず、未だ海外出張には感動が喜んでは出掛けます。

ありその時の感想ですが、北京原人は一体であり、學術的にも非常に価値ある発掘物であると認識していたのが、数十体発見され、教科書などに写真掲載されてた原骨は第二次大戦前に行方不明になり、今だ解らずじまいであると知らされ驚いた。

海外紀行で特に文化の

時からの式も映画でみるようなシンの連続で、一時間程度で無終結。後の降る野上でカクテルパーティーが、所を代えて地下のボタガ（酒意）で行われ、ワイン、シェリーを片手に、ジュエリーを暖める。夜十一時よりディナーが始り、伊勢エリ、巨大テキキを中心にした約一時間の正餐、日のようにビビリたとか、カオオケななど、食べ、飲んでしゃべる。そのエネルギッシュな事。

深夜の二時頃、やっと終わり、その後も一度ボタガホテルパーティーは朝の六時頃までは朝の六時頃だった。結局、ホテル戻った。マドリッドで最後の夜この地へ進出した。有名日本企業でNo.1にっているS君夫妻と夕食の

招待を受ける。あの頃、子供連の手守りに、又、妻のだし巻きを食べべくよく我家に来ていた彼の出世ぶりにワインの彼も格別であった。彼のスペイン語は小生の知る日本人の中では、ビカイチで、毎年大晦日の夜は若い人達が十人位やつて来て、徹夜大騒ぎをしたのだった。

マドリッドはその年のフランコ總統時代を知る者としては、現在の町の様子はあまりにも変わり、道路、メトロ、電車と交通手段は多少ときれいに快適となり、EUに加入後人々の生活も、自信にあふれ、豊かになったと実感を出来る。反面、人情は薄れ、ずいぶんと犯罪も増え、特に日本人観光客に對してのそれはひどいものがある。

スペイン広場に立つて、あの独裁政治の中、非法法のデモが多発し、治安警察との衝突、外国人への国外出去勧告と、当時の騒動が目につかんでくる。

コルドバへ行くのに初めてAVE（スペイン版新幹線）に乗った。四百kmを約一時間半程で走り、まことに快適な電車だ。

これは中世ヨーロッパで一番栄えた都市の一つで、アンダルシア地方で最も美しい観光地である。ここで三日間滞在し、三人はそれぞれ、一日一八つ仕事の打合わせ等を受け、接待を受ける。

大体スペインでは昼食は午後の二時頃から、夜は二時頃からが普通で、レストランなどは夜の十二時で人であふれている。いいレストランに

なるほど遅くなる)

(こころでは有名な回教寺院メスキエツトの、町から車で三十分程の所にメデイナ・アサラと云う古世の遺跡(グラナダ王妃の別荘)の発掘現場があるが、その壮大さに驚くばかりである。

ゾロバの友人に車でリゾートで有名な地中海南部コスタ・デ・ソル(太陽海岸)の中心地マルベジャまで送ってもらう。そこはホテルに夕方着くという津湾時代の友人(口ス在住)のK君夫妻はすでに到着しており、地球の果てでの出会いにカンペイ。

今回偶然スケジュールが合って、一緒に四人でアンタルシアを旅する事になった。四日の間マラガ、グラナダ、セビリア、ロンダ、カディスと

彼の運転、小生のナビでワイワイのドライブ。残念だったのは、アルハンブラ宮殿に、入場制限が導入され、少し遅く着いたため、見学出来なかった事である。小生達はその昔行ったのでいとして、彼には気の毒な事であった。

ジブラルタル海峡をはさんで、対岸のアフリカ（モロッコ）もきれいに見えた。岩屋から明石を見るに少し遠い感じ。

小生達がマラガからパリへ出発する朝、彼らは目的であったゴルファールのあがれのコース、バルデラマへ出かけた。

この時期、スペインは好天気で、少しづつ暑さを感じるはずだったのに、異様な象とやらで、雨がふり降り、寒いらいだった。しかしそのため、草

木や花が一斉に芽ぶき、花咲き、すばらしい景色に包まれた所で歓声をあげたのもだった。

層に寄ったバリも同じで、モノの家のあるジベルー、ネネの家のあるジベルーなどはまさに、彼の絵や世界そのものの美しかった。

友人夫妻の別荘で食べたナチュラルのホワットアスバラガスと共にいい思い出となった。

ヨーロッパは何回行っても変わらない部分と、どんな新しくなる部分があり、ホッとしたり、驚いたり、小生にとって、まさに第二の故郷でいければむこうのどこかの田舎にでも住もうかと本気で考えたりする。

高六回生 均 平 569-1146 大阪府高槻市赤大路町二一九七 〇七二六・一九五一・二一五六	津名高校 六回生有志一同 薄木法律事務所 弁護士 薄木 昌信 (高七回生) 事務所 330-0947 大阪市北区西天満四丁目七番一七号 電話 大阪 〇六(六六五)五五一・五五二・五五三番番 FAX 大阪 〇六(六六五)八二四一・二四二番番	川西市長 柴生進 (高十回生) 〒656-0006 兵庫県川西市中央町十二番一 電話 〇七二七四〇一・二二一一
--	--	---

石原 富子 (高六回生) 〒650-0022 神戸市中央区元町通三丁目十一番十三 〇七八一三三三一 四七七八四	坂東 洋治 (高六回生) 〒654-1114 神戸市北区鈴蘭台西町五丁目一番一九号 電話 〇七八一五九三二一 四五二番	郡 益彦 (高六回生) 〒650-0040 古川市平岡町新在家一七四五一〇二二九 電話 〇七八一四一四 七三九八	北淡町元助役 北淡町商工会 会長 栗田 智之 (高六回生) 〒656-0066 津名郡北淡町室津二四一〇一四五 電話 〇七八一八四一〇 五二五	高田 一弘 (高六回生) 〇七八一七四三二 七三四一
---	---	--	---	--

日系のおばさん アメリカに住んで三十年

平田 千佳子
(高十五回生)

クラスメートの皆さん
お久しぶりで。
子供の時から憧れていた
アメリカに渡って早三十
年。昨年には、思いきつ
てアメリカ市民権も取得
しました。と言っても日
本国籍を放棄した訳では
ありませんので二重国籍
です。

一九七〇年八月十日、
羽田からシアトルに向か
い飛行機がシアトルに着
く時は胸がドクドク。
オーバーですが生きて
日本の地を又踏むのかと
思ったものです。移民
局の気さくなおじさんが
「Find a Husband」と

言ってくれたのが忘れら
れません。又、実際そう
でした。

当時一ドルは三六〇円。
今では若い人の中ではド
ルが、そんなに値上がり
があったのも知らない人
が多い様ですね。日本が段々
経済大国に成るにつれて、
私の選択が良かったのか
どうか疑問に思っています
が、住むのは都で今はす
かり。日系のおばさん
はサンフランシスコより車
で約四十五分の住地コ
ンコード。勤務地は船倉
社、商船三井。以前はサ
ンフランシスコ事務所で

日系会社担当の営業回り
をしていましたが、七年
前アメリカ本社がニュー
ヨークよりコンコードに
移転、それを機にトラン
スフェアし現在自宅から
車で十分の所で船運賃を
設定する packing で働い
て居ます。船倉社に居る
とアジアの動きが良く解
り残念ながら日本の重要
性が、年々薄く成って来
るのが良く見えます。

子供は男の子が一人
で長男は Eric, 次男は
ソフトウェアーのセール
スをしていて、近々結婚
予定です。次男は U.S.A
(カリフォルニア)で数
学専攻したものの卒業す
るのに四苦八苦して、ア
メリカ名門校の難さを
味わって居ます。

う服を探すのに苦労しま
したが、現在では反対に
日本に行つてもデパート
の婦人服コーナーは、ど
うも合うサイズが無いと
思い横目でパス。勿論
値段に手が出ないと言
う理由も有りますけれど
まだ一人では母が九十二歳
でまだ一人で生機に住ん
て居ますので年に一度帰
国するようになっていま
す。普段面倒を見てくれ
る姉達も利口になり、
木づくりの「剪定の
後始末を自分達だけで
するのはしんどいので一
人でも人手が多いほうが
いい」とばかり、私の帰国
とスケジュールに合わせる
ので、この何年間も庭掃
除に帰つてくる様なもの
です。もし、私の実家
前であつたおばさんが庭
掃除をしていたら私です
から、声を掛けて下さい
ね。

さて、もつと書きたい
事もあります。紙面に制
限が有りますが今回は
これにて。 See you!

明石海峡大橋主塔に昇つて

福谷 勲
(高三十二回生)

先日、明石海峡大橋の
主塔に昇る機会があつた。
大橋自体の徒歩による歩
き初めはあつたが、その
主塔に昇れたことは、貴
重な体験であつた。

当日は、まず淡路サ
ビスエリア展望台におい
て、大橋の概要の説明を
受ける。有名な話である
が、阪神淡路大震災で長
さが一メートル長くなつ
て三九一メートル、主
塔の高さが二九七メー
トルであること、直徑一
メートルのワイヤーケ
ーブルが張り合つて、こ
の橋全体を支えているこ
と、橋の対策はやはり鋼
による劣化であつて、こ
のワイヤーケール束の束
の中に常に風を送つて、錆
が起らないようにしてい
ることなど、いろいろな
説明を受けた。記念撮影
もせず、土産も買わず、
次の目的地松崎のアンカ
レイジへ。

アンカレイジは、大橋
を支える基礎部分であり
から富島方面、東はザ
ー

トアイランド、須磨浦公
園、西は加古川方面(？)
まで眺める事ができた。
天気の良い日は関西新
港も見えらるらしい。下
を覗くと、車道はまさにミ
ニカーで、隊列のごとく
数珠つなぎに走っている
普段は見ることのできな
い、バスの上部のデザイン
が面白い。防護欄が高
くて、面を見つては脚
立を意図してくれたが、
やはり足がすくんだ。

非日常の生活空間から
みた世界は、やはり新鮮
な光景であつた。普段み
ているものも、少しアン
グルを変えてみると、新
しい発見につながる。そ
ういう点から、既成概念
を超えた柔軟な発想、や
わらかな頭が求められる
現代なのかも知れない。

NHKのど自慢出演で 人生の景色が変わった！



船越 淳久
(高三十三回生)

もう三年半前の話に
なりますが、あの時の
出来事を今でもよく覚
えています(と言いか、ビ
デオに残っていますので。
そう、私の「ど自慢」が、
国際舞台とまではいか
けれど、日本国にテレ
ビ中継された、あの出来
事です。

こんなうまい人ばかり
の中に混じって、こんな大
きな舞台(観客約一〇〇
〇人)で歌えるなんて夢
のようだ。曲はもちろ
ん、私の十八番、郷ひろ
みの「お嫁サンバ」。

いざ、生バンドの演奏が
高らかに響くと、イメー
ジどおりに振りを着け
て「♪恋する女はきれいさ
〜(ウーン、気分は最高
〜)」。ゲストの西城秀
樹の振りをアドリブで途

中に入れて、ヒデキも大
笑い。会場もムードも
えで、鐘は「〜カ
ン、カン」ふたつでも
なせか「よしよし〜」。
そして、あの西城秀樹と
会話。番組の最後には、
なんとゲストが選り「特
別賞」までいただきました。
「やった〜」。

元はと言えば、約二十
年ぶりに淡路島(洲本市
民会館)で「のど自慢」
が開かれるというのを
知った妻(津名高校第三
十五回卒業生)が、応募
した一枚の葉書きが、
発端。故郷のために一
肌脱いでやるか、など
いりてで参加した前日
の予選会(二五〇組の中
から二十組に本選に選
ばれてしまった)でした。
驚いたのは会場の人達
定が前日夜だから、近い

親戚に知らせるのがや
つて、会社の人には全く
言っていないで、
それで、たまたま見て
いた人は、テレビの前
で「エッ?」と仰天した
そうです。私は、勤め先
(関西電力)では、一応、
真面目な仕事で、通
っていました。しかし、
それに願が、堅物という
面上の印象は吹っ飛び、
今では宴会の盛り上げ
役もすっかり定着しま
した。たつた四十五分間
が、我が人生において
実に効果の大きい四十
五分間でした。

今でも、時々、思うの
です。でも、なんでも
選ばれたんやろう?と
て。人生って、ほんと
おもしろいですね!

津名高等学校同窓会阪神支部会計決算書

自平成 10. 7. 1
至平成 12. 6. 30

収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	1,527,689	総会費	803,580
本部よりの補助金	40,000	総会諸経費	289,887
総会会費	882,000	母校クラブ活動支援金	400,000
ご祝儀(総会)	70,000	母校歴訪費用	507,197
母校歴訪参加費	362,000	支部報発行費	2,594,818
支部報広告費	1,652,000	通信費	264,635
年会費	1,400,000	会議室料	27,700
瀬先生を囲んで	250,000	会議費	109,806
寄付金	57,000	瀬先生を囲んで	340,301
利子	9,093	消耗品費	86,096
		次期繰越金	825,762
合計	6,249,782	合計	6,249,782

*支部報…3月・4月・5月

*年会費…平成10年・11年・12年

*母校歴訪…平成11年・12年(2回)

*寄付金…15回生同窓会残金よりの寄付を含む

「こんなにいます!先輩・後輩」と同窓会名簿が届きました。

新世紀に52回目の後輩が巣立ちますと約16,700人となり、外国でふとすれ違った人に「やあ、久しぶり」と、声をかけられそうな時代となりました。

京阪神方面にもご活躍の方々が増え心強い限りでございます。また昨年には母校のマンドリンクラブを迎え支部総会が開催され136名ものご参加ということで会場が湧き時の経つのを忘れる思いでした。

その席上で上記のように会計決算報告書をご承認戴きました事、紙面にてご報告申し上げますと共にこの様に支部の運営が成り立っているのは皆様のご支援のお陰と感謝申し上げます。本年度もどうかよろしく願いいたします。なお年会費、広告賛助金等のご協力もよろしくお願い申し上げます。

支部会計 尾崎 田鶴子

神戸国際大学
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

神戸国際大学
附屬高等学校
〔普通科〕・〔国際科〕(男子)

介護保険についての 現状と課題



川西市長
柴生進
(高十回生)

去年の四月よりご存じ介護保険制度が始まりました。もう身につきまされている方、まだまだ先の事だと思われている方、受け止め方はいろいろですが、いつかは必ず降りかかる問題です。制度が始まる前から新聞テレビで報道されていましたが、私の市でも各地域に出向して説明会を行って来ましたが、大々な混乱もなく今日まで来ましたが、現状は保険料を払う事によって、制度がより認識され、多くの相談が持ち込まれてきています。そのために市だけではなく、対応出来る市が増えており、介護保険法指定を受けている事業

介護の重責と

植田作
(高三十一回生)

母が最初に病を得たのは平成四年三月、地元の病院での所見は気管支エントンの疑いだとのたが、大学病院で再検査を受けたところ「声紋下狹窄」という余り聞き馴れない病名だった。気管切開の後、狹窄した部分の細胞を削って広げる手術を繰り返して、三度目の手術の予備検査で大腸に悪性腫瘍が発見された。気管の治療は一時的保留し、腫瘍部分の摘出手術を受けた後、入退院を繰り返して、五年目に入った頃、子宮へガンの転移が発見された。担当医は、「手術しても……」との事。その頃から、八生最後の後援で「の」の思いが私の中に占めるようになって

「体調よき良ければ何処へ出掛けよう大丈夫の医師の言葉もあり、栢が手術の定期投与、検診以外のはほとんど時間を人の希望で淡路路「自宅で過ごすようになった。茨城県と淡路路を行き来するが、奇しくも自宅でも腸閉塞を起し、県立淡路路病院で再び大腸メス手術の間隔で帰郷し、身の回りの世話を三月続けられた、通院治療を告げられた、平成九年三月末に退院。強がりの性格が時々見えに帰ってと云われた。ええかきにくと知らねえが、毎日の通院、食事も、人々肛門の付け替などと考えた、とても不可能だった。

者とも連携して対応しています。受け皿の施設も三施設完成したのですが、もうすでに三〇〇人近くが申し込んで待っています。

れない。そこで介護保険施設に入所するにはどうしたらよいか。また痴呆が進んで来た場合は心配ですし、本人が入所をいやがる場合は特に深刻です。说得して入所しても、施設ではどうしても眠る時間が多いので、痴呆がより進みます。

理想は同居して面倒を

時代の恩師山崎梧嶺が「去れ、高校へ」といふので、母は、
妻と姉妹にあんなに不機嫌で不動の
夫妻をはじめとすまで多くの
方々だした。早くに父と、
を亡した私にと、
、これまでも多くの方々の
支援を頂いたが、この時
ほど、人情の機微を感じ
たことはなかった。

平成九年六月十七日
生まれ故郷淡路局町 七日
逝った。最後まで心と
病生活は、母には及ばな
の連続でしかなかっただ
ろう。しかし、私は、
母の死と向き合った歳月
は、家族と親戚、仕事、
護など多くの現実を教え
てくれた日々でもあった

編集後記

みればよいのですが、家族の誰かが看病つかれて病人になる場合もあります。勿論、このような現状からお年寄りの介護は、個人的な問題ではなく、社会全体の問題ではなく、このような介護保険制度が出来る、従来の措置から契約の時代となりました。千円で買うという事を要するに一万円の介護を要するわけですが、今後は都市近郊では施設が不足しての介護料金も上がって

世紀を越へてと言えば、少くも大正十三年の創刊六号を迎える事になつた。

慶賀のいたりである。ほんの小さなころみかか始まつた本紙も、今や押しも押されぬ。阪神支部の顔に成長しました。

出の交流、情報交換の場
に役立てて欲
しいものである。明石大
橋で企画した母校訪問
今年で四回を数える。
この行事も現役津名高
生と我々同窓生を結ぶ強
絆として定着してきて
います。

皆さんのふるつての参
加を待っています。

橋を渡りながら旧交を
温めようではありません
か。

日時 平成十四年
場所 淡路島内
詳細は追ってこ
さん楽しみに待

高十二回(昭和三十

いくものと思います。

それと、高齢者をかかえる家庭では、いつかに備えてしっかりと研究しておくことです。急に痴呆が進み、家族が夜も眠れなくなつて、介護保険の認定も受けていない方が、すぐに施設費と思つても預かつてくれる施設や病院はありません。早いうちに家族で話し合つておくことが大切です。私たちの老後がより輝いたものになるために。

しながら読んでいます。と言う話を聞いた。同窓の皆さんの地元淡路島で、日本の各地で、そして世界中の舞台での活躍に拍手を送らぬ者はだれもあるまい。

今号では海外で活躍されている津山高OBの話題を中心に上げまし

うか。
支部宛に御意見、感想を
いただければ幸いです。
二十一世紀中には、こ
の地球以外でワイクする
同窓生の姿が見られるか
も。／＼

編集委員
田中 種義 坂東 洋治
岩井 吉人 小久保澄夫
吉田 正光 北川 映子
中田 晴繁 花野 正悦
奥田 正博 福谷 勲

六年卒
同窓会の案内
下旬

幹事
山本 和夫
大石 徳久八寿子
砂川 英明
喜田 大谷美登里
岩井 吉人

教育部

津名高等学校クラブ活動記録
(平成十二年七月～平成十三年三月)

- [illegible]

文
化
部

- [illegible]

(株)ネオス

取締役 中田 晴繁
(高十七回生)

淡路島觀光連盟理事
平公

三村忌

日興證券株式会社

矢田

株式会社
江浦製作所

(高二十三回生)

TEL 〇六一六七 四一四七四 (代)
FAX 〇六一六七 四一四七四

産直 赤い屋根

柴宇海産物

グリーン市場 島

花ひろは
長尾

こだわり屋

香りのひろば

同窓会開催

〇〇一年記念の同窓会を左記のとおり開催。
とき 四月一五日 一泊

全国から五四名の仲間が参加して盛況裏に終了しました。

出席者一同